

平成25年度管外行政視察復命書

1. 期 日

平成25年7月1日(月)～3日(水) 2泊3日

2. 視察先及び研修事項

7月1日	東京都	豊島区	巣鴨地蔵通り商店街について
7月2日	〃	中野区	すこやか福祉センターについて
		立川市	地域防災計画について
7月3日	〃		政府要望

3. 研修内容

①東京都豊島区は、人口284,687人、

面積13,01km²、人口密度19,116人、高齢化率19,0%、経常収支比率88,3%、
財政力指数一(地方交付税不交付団体)

[研修内容]

◎巣鴨地蔵通り商店街について

(商店街概要)・・・「おばあちゃんの原宿」と呼ばれる。詳細については、別紙豊島区文化
商工部生活産業課作成資料の通り。

(事業実績)・・・商店街イベント等、商店街活性化事業

○豊島区の事業(予算は平成25年度)

- ・電灯料補助事業(電灯料の60%、LED等は70%) 27,653千円
- ・イベント事業(補助率2/3、限度額150万円) 49,000千円
- ・施設整備事業(補助率2/3、限度額5,000万円) 14,000千円
- ・販売促進事業(HP作成等、補助率2/3、限度額1,000万円)

(区商連が商店会加入事業 〃) 4,500千円

- ・空き店舗対策事業(補助率2/3、限度額多種あり) 3,500千円
- ・地域連携型モデル商店街事業・・・(補助率4/5(都+区)、限度額2億円)

○この他東京都の事業、公益財団法人東京都中小企業振興公社の事業、国の事業
詳細については、別紙「魅力ある商店街をつくろう」のとおり。

○区民からの評価

区民からも高い評価を得ているその理由は、別紙のとおり。

○商店街の課題

商店街各店舗の売り上げが減少している。その対策等については、別紙の通り。

(質疑応答)

Q: 雨季や夏季にアーケードの設置については。

A: 地蔵通りの景観から設置していない。

Q: 街路灯等の基数は。

A: 街路灯2,700基、LED取り換え済1,200基

Q: 25年度の予算が計上してあるが、充足しているか。

A: 商店会に照会し、前年の9月頃、次年度要望を取りまとめ計上しているので、大体賄
っている。

Q: イベントに対する助成は、例年実施にもしているのか。

A: お見込みのとおり。

(所見)

- ・全長800mで昔は売物が無くなるほどだったが、次第に落ち込みもあったが「おばあちゃんの原宿」で活気を取り戻す。空き店舗の経験は無いが、最近は落ち着きを見せている。その原因として、ニーズと生活習慣が変わってきた事が挙げられる。そこで現在、お年寄りにターゲットをしていたが、若者に転換しゆるキャラ「すがもん」や各種イベントで賑わいを創出している。
- ・特記すべきは災害時の対応もいろんな業種で対応できるため、P・C・Pで取りまとめて発信し、安心安全のまちづくりに寄与している。(消防・警察・自治会との連携は発信後から)
- ・高齢者が多いため、バリアフリーが課題として考え、段差を少しでも無くすようにし、防犯や治安よりも優先している。(あまり問題となっていない。)
- ・土・日はにぎわっているが、平日はそうでもない。その対策が必要である。

②東京都中野区利便性の高い住宅地。人口314,750人、面積15.59km²、人口密度19,221人、高齢化率19.6%、経常収支比率93.0%、財政力指数—(不交付団体)

[研修内容]

〽すこやか福祉センターについて

(センター設置経緯等)

- ・小学校廃校跡地の利用として設置。区内4か所
- ・スーパーリフォームとして、8億円を投じた。

(センターの概要・特色)

- ・所管の人口 92,792人、世帯数 58,208世帯、高齢化率 18.9%
- ・施設概要 中部すこやか福祉センター、児童館、区民活動センター、高齢者福祉センター・高齢者会館
- ・職員体制 所長1名、地域ケア分野 常勤37名 再任用4名
地域支援分野 // 12名 // 6名

(今後の課題)

- ・駐車場が少ない。
- ・交通アクセスが悪く、利用者が少ない。
- ・住民の要望意見に対する対応(整備状況)
詳細については別紙「仲町小学校跡施設整備 報告書」のとおり。

(質疑応答)

- Q: 施設運営等予算は、年間どれ位か。
A: 手持ち資料は無いが、大した予算ではない。
Q: つどいの広場、ファミリーサポートセンター事業はしているか。
A: 集いの広場は子育て支援事業で、ファミサポ事業は、区役所で行っている。
Q: 地域包括支援センターは、直営か。
A: 民間福祉法人委託と、社会福祉事業団が指定管理者となっている。
Q: 社会福祉協議会はあるか。事業の住み分けは。
A: 社会福祉協議会はある。各事業の連携はとれている。

(所見)

- ・統廃合による小学校跡地を活用し、昭和44年から昭和50年までに建設された建物で耐震問題もあるため、8億円をかけスーパーリフォームし地元住民に開放している。
- ・保健福祉と子育てについての総合的な相談支援(乳幼児健診や家庭訪問等)、地域活動や支え合い活動(区民活動センターの運営や地域見守り支え合い推進、地域の民生委員の支

援等) 多岐にわたり推進されている。

- ・区民の評価は調べてはいないが、分かりづらく不便だという意見は聞いている。今後の課題としてアクセスしやすい環境づくりに努めなければならない。
- ・交通のアクセスが悪ければ、小学校跡地(土地・建物)を民間に売却し、新たなところに設置した方がいいのではないかと感じた。
- ・費用対効果や区民の利便性も考慮すべきと、思った。

③東京都立川市は東京とのほぼ中心西に位置している。「心のかよう緑豊かな健康都市立川」 人口179,688人、面積24.38km²、人口密度7,169.2人、高齢化率21.2%、経常収支比率91.4%、財政力指数1.14

[研修内容]

◎地域防災計画について

- | | |
|---|------------|
| (計画の概要)・・・別紙「立川市の防災対策について」による。 | P1～P12 |
| (具体的内容)・・・ | // P13～P28 |
| (まとめ)・・・ | // P33 |
| (基本的な考えかた) | // P34～P36 |
| (防災モデル事業) | // P37～P40 |
| (地域の助け合いの仕組みづくり) | // P44～P54 |
| (今後の課題)・・・女性の視点、ペット対策、アレルギー食対策、ツイッター等 SNS
トリアージ(避難所へ来る人を選別する)、避難所運営組織の向上 | |

——安心・安全の街づくりへ——

(質疑応答)

Q: 防災士は、国家資格か。

A: 国家資格ではない。

Q: 災害時要援護者も避難訓練に参加するのか。

A: 参加するのは構わないが、マニュアルを本年度作成する。

Q: 地域防災訓練は、毎年12支部で開催するのか。

A: 学校・保護者と地域住民が一体となって行っている。

(所見)

- ・地域防災計画の見直しの視点は、災害が起きても被害を軽減させる「減災」があり、基本的な考え方として、市民、地域、事業者、行政が「自助・共助・公助」の適切な役割分担に基づき連携、協働する仕組みづくりを進めている。(H19～26年度の8カ年計画)
- ・立川断層という活断層があるため、災害時着実な態勢がとれるよう各機関が連携・強化するための計画へ修正する。

④政府要望

○農林水産省 生産局 佐藤生産局長他職員が(課長級)対応

(要望事項)

- ・施設園芸補助金の嵩上げの継続について
- ・生姜の臭化メチル代替農薬開発について

○農林水産省 農村振興局 實重振興局長他職員が対応

- ・八代地域い産業を守る対策に関する要望
- ・八代市・町における農業農村整備事業の促進について
 1. 経営体育成基盤整備事業の採択
 2. 海岸堤防の強化
 3. 老朽化した配水機場の推進

4. 農業基盤整備促進事業の推進

5. 農地・水保全管理支払い交付金の推進

○国土交通省（海事局・港湾局・危機管）竹田官房審議官他職員が対応

・中九州の海上輸送拠点「八代港」の整備促進について

○国土交通省 河川局 菊川技官他職員が対応

・八千把、松高地区（古閑配水区）における浸水対策事業について

・大鞘川河川改修事業の促進について

(所見)

- ・民主党政権から自民党政権へ交代があった為、農業他予算が拡大されたので今後の国の事業が期待される。要望を行った省庁では殆ど、予算が増加している事が分かった
- ・国は予算を拡大したが、県との連携が必要であり、県の国に対する積極的なアプローチが重要と感じた。

上記の通り平成25年管外行政視察研修の結果を復命します。

平成25年7月5日

自由民主党 和

会 計

成 松 由紀夫
古 嶋 津 義
松 永 純 一



自由民主党 和 代表 田 方 芳 信 様